

「キャンプ座間桜まつり」にて広報活動

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 林2陸尉）は、4月1日（土）、キャンプ座間桜まつり（相模原市南区）において、自衛隊広報ブースを設け広報活動を実施した。

自衛隊ブースでは、1/2トラック（パジェロ）及び偵察用オートバイの展示やちびっ子迷彩服などの試着体験を行なった。当日はあいにくの雨で足元が悪い状況であったが、多くの人々がブースを訪れ、迷彩服を身にもたい記念撮影する姿が見られた。また、午後には在日米陸軍が所有する多用途ヘリコプターUH-60が、近傍から飛び立つパフォーマンスも行われ、来場者からは多くの歓声があがるなど、大いに賑わった。

相模原地域事務所は、「今後も地域イベントの機会を活用し、引き続き自衛隊の魅力を発信していく」としている。



偵察用オートバイに乗り、笑顔で写真撮影を行う親子

「相模原市民桜まつり」で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 林2陸尉）は、4月2日（日）、相模原市民桜まつり（相模原市中央区）において、相模原地域自衛官募集相談委員会の協力を得て、広報活動を実施した。

自衛隊ブースでは、1/2トラック（パジェロ）の展示やちびっ子迷彩服の試着体験を行い、多くの子供たちの長蛇の列ができるなど、大いに賑わいを見せた。また、災害派遣活動パネルの展示も行い、来場者は熱心に見入るなど関心を示している様子であった。

相模原地域事務所は、「今後も、地域イベントの機会を活用して市民に密着した広報活動を行い、自衛隊に対する理解促進に努めていく」としている。



1/2トラック（パジェロ）に乗り、笑顔を見せる子供たち